

つちおと

平成31年1月28日発行
宮城復興局気仙沼支所

気仙沼市笹が陣3-5
気仙沼市シルバー人材センター内

1/7

気仙沼地区生コンクリート 協同組合 ～安全大会開催～

気仙沼・南三陸エリアにある8つの生コンプラントの従業員や生コン組合の従業員等、関係者約220名が出席し、1月7日に第7回気仙沼地区生コンクリート協同組合の安全大会が執り行われました。

安全大会では、労災防止に貢献した各種表彰の他、労働基準監督署及び気仙沼警察署の講演のあと、今年1年の安全を宣言し、閉会しました。



安全大会表彰式

◆気仙沼地区生コンクリート協同組合について紹介致します◆

気仙沼地区生コンクリート協同組合は、気仙沼市及び南三陸町を管轄として、工事現場等に生コンクリートの供給を行っております。震災前は4つの生コンプラントで運営をしておりましたが、震災後急増する生コン需要に対応するため4つの新プラントを増設しました。震災前の出荷量は4プラントで5～6万m³/年。震災後は8プラントで30～50万m³/年と震災前に比べ6～10倍の出荷量となっております。

コンクリートに使用する粗骨材や砂も震災前は地元材を使用しておりましたが、供給が追いつかず、北海道、青森、茨城等から海上輸送をして対応にあたっております。一方、コンクリートの需要ピークは平成27年度となっており、今後は需要減が予測されることから、増設した4つのプラントのうち、3つはH31年3月～4月にかけて廃止される予定です。



H30年度末に廃止が予定されている本吉プラント



骨材の海上輸送荷下ろし状況

気仙沼地区生コン協同組合では、急増したコンクリートの需要に応える他にも様々な取組を行っております。協同施行では全国初となる「運搬技能研修」を導入することで運転手の技術力向上を図る他、平成29年8月には南三陸町と「災害時における消火用水運搬の協定書」を締結し、平成30年7月には「青パトこども110番」のパトロールを開始するなど地域に貢献されております。

復興事業は10年余りで終了することから、従業員の増員や設備投資も難しく、急増した生コン需要に対して一丸となってお対応頂いているところです。復興・創生期間も残すところ2年2ヶ月となりました。復興事業がここまで進んだのも生コン関係者が供給責任を果たしてくれたからこそです。本当にありがとうございます。



運搬技能研修会での会場風景



青パトこども110番出動式(気仙沼警察署にて)

12/21金

とうほくNPOフォーラム in 気仙沼 ～ 復興への想いでつながるNPO ～

NPO サポートリンク「とうほく NPO フォーラム」実行委員会 主催
とうほく NPO フォーラム in 気仙沼 2018
復興の先を見据えて《今、地域のあり方を考える》
2018年12月21日（金） 気仙沼市民会館



浅野元知事による講演

12月21日、東日本大震災からの復興に関わる市民活動の成果と課題を考える「とうほくNPOフォーラム in 気仙沼」が気仙沼市民会館で開催され、宮城・岩手・福島3県のNPO団体など約120人が参加しました。オープニングでは、浅野史郎元宮城県知事が「地域課題を解決するのは誰なのか」をテーマとして基調講演し、トークセッションを行いました。午後には、テーマ別に4つの分科会が開かれ、参加者が地域課題の解決や地域におけるNPOの価値などについて意見を交わしました。

1/7日

松崎片浜地区土地地区画 整理事業の決定

気仙沼市が都市計画事業として進める「松崎片浜地区被災市街地復興土地地区画整理事業」が1月7日事業認可されました。これにより、換地設計業務などの事業に着手することになります。施行地区はJR松岩駅の東側、約4.8haのエリアとなります。この地区は災害危険区域に指定されており、居住系の建築は制限されています。併せて、防災集団移転の移転元地として市が買い取った土地と、非居住地等の民有地が混在している状況にあります。これらの土地を地権者の意向を踏まえながら、換地によって集約します。また、市有地等を活用し、道路の拡幅や公園の整備を行います。事業費は約3億6千万円で復興交付金等が充てられます。今後、土地の整地等が行われ、事業は2020年3月にて完了する予定です。集約された土地は商業地等としての活用が計画されており、今後は企業を誘致するなど活気あるまちづくりが進められることとなります。



応援職員だより ～ 地域の情報化のために～



応援職員の大崎泰史さん。平成29年4月から復興庁の復興支援専門員として気仙沼市震災復興・企画部情報政策課に勤務。宮城県出身。

情報政策課では、7名体制で情報化施策とともに行政情報システム全般の企画、運用、管理などを担当しています。

私は情報通信基盤の復旧事業に携わっています。震災前、市内には総延長468kmもの情報通信基盤ケーブルが張り巡らされ、市の第三セクターによりケーブルテレビやインターネットサービスが提供されていましたが、震災によりその4割ものケーブルが被災しました。

これまでの3次にわたる復旧事業は、他事業との調整などのために紆余曲折の連続でしたが、一部地区を残して復旧を果たしました。こうしてケーブルテレビにより地域情報や市政情報などの放送が再開され、昨年には市からの防災・災害情報を確実に提供するための新システムも導入されています。

今年度も未復旧地区で事業を進めていますが、復旧させることをゴールとしてではなく、以前にも増して施設が有効利用されることを念じつつ計画図面を広げています。

進む震災復興【大島架橋事業(気仙沼大島大橋 & 県道大島浪板線)】 ～ 4月7日供用開始 ～

大島架橋事業は、本土と大島を結ぶ大島大橋と、その前後の県道(大島浪板線)整備事業で、宮城県気仙沼土木事務所により進められております。

当初の計画は、震災前の平成20年2月「大島架橋事業説明会」にて示されました。その後平成23年3月11日に「東北地方太平洋沖地震」が発生し、津波を回避するルート計画に見直され、事業区間も国道45号～浦の浜までのL=約8.0kmに延長されました。

三陸道の「(仮称)大島IC」や「(仮称)気仙沼北IC」とのアクセス性も良く、災害時には救助や物資供給等の輸送路として期待される他、観光や産業面でも地域の発展に大きな効果が期待されるところです。



標準幅員は約10mで、山側には幅2.5mの歩道が整備されます。本土側の2つ、大島側の3つのトンネルは、全て完成しており、道路部分では、現在、全延長8.0kmのうち1.5kmを供用しております。既供用部を含め、大島大橋を含む浪板橋～磯草までの約5.5kmは平成31年4月7日供用予定です。

このうち、大島大橋は橋長356mで、支間長は297mと東北では最大支間長となるアーチ橋です。平成29年3月29日に、3000t吊級の大型クレーン船で5回目の架設が完了し、舗装まで終了しております。

事業を行っている気仙沼土木事務所大島架橋建設班に現在の状況等についてお聞きしました。『県では、大島架橋事業の全線早期供用に向け、現在3地区の整備を行っており、このうち、浪板地区については、主に三陸道工事と連携し土工を進めており、大浦地区では、舗装工事、磯草地区においては、BOXの設置が平成30年7月に完了し、現在は、土工や舗装工事を行っております。今後も全線早期供用に向け、事業を推進してまいりますので、引き続き、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。』との話を頂きました。



◆支所長コラム

1年がスタートしました。風の強い日が続いていますが、雪が少ないので助かっております。

この時期、毎年話題になるのがインフルエンザ。今年も県内全域で猛威を振るっております。特に気仙沼地域では、1医療機関あたりの平均患者数が県内トップになっているようですので、体調管理にはご注意ください。

さて今年に入り、気仙沼大島大橋の開通が4月7日になるとの発表がありました。他にも今年は「三陸沿岸道路」「気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザ」「気仙沼市東日本大震災伝承館」「気仙沼市魚市場」「南三陸町生涯学習センター」など落成・開通ラッシュが続きます。明るい1年になってくれることを願うとともに、復興完遂に向け支所職員一同頑張っておりますので、今年もよろしくお願い致します。(吉)

復興関連イベント

各地で開催される
復興イベントをご紹介します。

【2月10日(日)】 ちよいのぞき気仙沼 サメのはんぺんをつくろう! ~気仙沼~

気仙沼の仕事や暮らしの魅力を体験できるプログラムとして人気のちよいのぞき気仙沼。2/10(日)には水揚げされたばかりの新鮮なサメの身をつかって、はんぺん作りが楽しめます。サメの解体ショーもあり、最後は作ったはんぺんをおでんに入れて実食！ちよいのぞき気仙沼は、土日を中心に他にも様々なプログラムが用意されています！

⇒気仙沼市観光サービスセンター 企画：観光チーム気仙沼 <http://cyoinozoki.jp>

【開催中！2月末まで】 牡蠣フェスティバル 第二弾 熱々大作戦 ~南三陸町~

冬にも南三陸にたくさんの方が訪れてほしいと、さんさん商店街を会場に昨年から始まった同イベント。昨年の寒鰯フェスティバルに引き続き、今年は第二弾として、牡蠣フェスティバルが行われます。

さんさん商店街内の11店舗が参加。各店舗で開発されたアイデアメニューが目白押しです！

⇒さんさん商店街 インフォメーションセンター ☎0226-25-8903



ほ場整備農地の南三陸ねぎ ~気仙沼市波路上~



これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

復興庁HP (<http://www.reconstruction.go.jp/>) ⇒ 宮城復興局 ⇒ 気仙沼支所だより「つちおと」

【編集後記】

◆最高気温が3℃以上の予報であれば、暖かいと安堵するようになりました。

「つちおと」発行元(お問い合わせ先)

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301、FAX 0226-23-5310